

評・榎野 信治(本社論説副委員長)

## 2020年、日本が破綻する日 小黒一正著

日本の財政が先進国で最悪  
というのほはや常識だ。そ  
うした認識を踏まえ、このま  
までは、2020年までに日  
本の財政は破綻すると、本書  
は指摘する。

もっとも、そう言うだけの  
本なら、ほかにいくらでもあ  
る。そこで、破綻を防ぐ手だ  
てを、わかりやすく提案した  
のが本書の特徴といえる。

では、どうすればいいか。

まず、最もお金のかかる社会  
保障に絞りを絞る、その財源を  
あらかじめ手当てしておくこ  
とが先決だという。具体的に  
いえば、国民から集める保険  
料の料率を早めに引き上げ、  
事前に資金を十分に積み立て  
ておくべきだと強調する。

一方で、「世代間公平委員  
会」を政治から独立した組織

として設立し、世代間で対立  
する利害を調整させる。受け  
取る年金の額など、受益の水  
準がここで決まれば、自動的  
に必要な負担もわかるので、  
増税などに取り組まざるを得  
なくなる、という具合だ。

まさに、おっしゃる通りだ  
が、当然国民の負担は増す。  
その決断をすべき政治は迷走  
状態だ。貴重な提案が日の目  
を見るのは、いつのことにな  
るのだろうか。(日経プレミ  
アシリーズ、870円)